

4月15日（月） 2024年度春季リーグ戦第2節3回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
奈学大	0	1	0	0	0	2	0	1	0	4
大公大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

奈良学園大学(3塁側)

対

奈良学園大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	三	米井	2	大阪商業大学堺	5	3	0	
	三	北峯	2	奈良大学附属	0	0	0	
2	二	深田	4	東海大学附属熊本星翔	4	0	0	
3	中	小田	2	駒澤大学附属苫小牧	5	1	0	
4	左	森	2	市立和歌山	3	2	0	
	走左	小南	1	北陸	0	0	0	
5	遊	本間	3	奈良大学附属	5	1	0	
6	指	松林	3	履正社	3	0	0	
	打指	川端	2	天理	1	0	0	
	打	藤村	2	大阪体育大学浪商	1	1	0	
	走指	貝辻	1	奈良商工	0	0	0	
7	右	吉岡	3	星稜	4	4	1	
8	捕	守	3	下関国際	4	1	0	
9	一	坂林	4	報徳学園	5	3	3	
投		矢川	2	日本航空石川	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	3	2	0	4	40	16	4

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	山中	4	明星	5	2	1	
2	指	寺本	2	鳥取西	2	0	0	
	打指	近藤	3	膳所	1	0	0	
	打指	京橋	3	清教学園	2	0	0	
3	二	樋口	3	刈谷	4	1	0	
4	捕	中村	4	西京	4	1	0	
5	右	前田	2	須磨学園	3	0	0	
6	遊	疋田	3	広島新庄	4	0	0	
7	一	田中創	2	金沢桜丘	3	0	0	
8	左	根来	2	生野	4	3	0	
9	三	田中啓	4	伊勢	3	0	0	
投		片山	2	池田	-	-	-	
		古谷	4	高島	-	-	-	
		中野	4	兵庫	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	12	3	0	0	1	35	7	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
矢川	9	141	38	35	7	12	3	1	1
合計	9	141	38	35	7	12	3	1	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
片山	5 2/3	99	28	26	11	2	1	3	3
古谷	2 1/3	39	11	9	3	0	1	1	1
中野	1	29	6	5	2	2	1	0	0
合計	9	167	45	40	16	4	3	4	4

【戦評】

最初の勝ち点を絶対に獲得すべく、一致団結し挑みました。

早くも3回目の先発を迎えた片山は初回、先頭打者にレフト線への際どい当たりを許し二塁打となります。次打者の犠打で三塁に進まれると、続く打者のバントした打球を自ら素早く捕球・送球し、飛び出した三塁走者を挟殺します。その後は四球を出すも最後を打ち取ります。

勝ち点を目の前に燃える打線は初回、相手投手の好投の前に三者凡退に抑えられます。

2回表、早速試合が動きます。一死から内野安打を許し、その後三振で二死に追い込みますが、続く打者に左中間を刺す三塁打を放たれ1点を先制されます。

その裏、すぐに反撃したいところですが、またも三者凡退に抑えられます。

3回表は、テンポよく相手を三者凡退に抑え攻撃の流れを繋ぎます。

3回裏、一死から根来がリーグ戦初ヒットを放ち、盗塁を決めチャンスを作りますが、後が続かず得点できません。

4回表、先頭打者が初球を捉え、誰もが安打だと思った打球でしたが、前田がキャッチ。ファインプレーを見せます。その後片山は二死から連続安打を放たれピンチを招きますが、次打者を打ち取ります。

また、5回表にも二死から連続安打を許すも、根来が好守備を見せ、ホームに進んだ走者をタッチアウト。追加点を許しません。

しかし6回表、先頭に内野安打を許し盗塁を決められると、一死から安打を放たれ1点を追加されます。ゴロで二死に追い込むも、ここでも安打を許しさらに1点を奪われます。その後も安打を放たれた片山は、相手打線を止めることができずマウンドを降り、古谷に託します。

一方の攻撃は、4・5・6回それぞれ、樋口、根来、中村が安打を放つもなかなかチャンスを広げられず、苦しい展開が続きます。

7回表、古谷は一度死球を与えるも、3人をしっかり打ち取ります。

しかし8回表、先頭の7番打者にこの試合4本目の安打で二塁打を許します。続く打者に犠打を決められ走者三塁とすると、次打者に適時打を放たれ1点の追加を許します。

なんとか得点したい8回裏、先頭の山中がレフトへの安打を放ちチームを沸かせますが、後続が次々と絶たれそのまま残塁となります。

後を任されたのは中野。先頭に安打を許し、一死からの安打と四球で満塁のピンチとなります。しかしここは落ち着いて連続三振を奪い、無失点で後の攻撃を待つのみとなります。

0点のまま9回を迎えた大公大打線。仲間の声援が飛び交う中、わずか4球で2人が打ち取られ、窮地に追い込まれます。ここで田中創が死球で出塁すると、続く根来が本日3本目の安打を放ち、一二塁とします。さらに田中啓も死球により出塁、希望を繋ぎます。張り詰めた空間の中、山中が放った打球は内野を抜け、タイムリーとなり